

## 平成 29 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	買物送迎事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	買物送迎運営委員会	高齢者支援課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	377,000 円	180,085 円	177,000 円

### 【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

高齢化が進む地域において、日常欠かせない買物が思うに任せない方々が増えており、交通不便地にとっては、大きな問題となっています。

そこで、地域の皆さんのボランティア精神に訴えて、一昨年 3 月の区総会で、地域自前で買いもの困難者を支援する「買物送迎事業」を立ち上げることが決議されました。

準備を重ねて、その年の 9 月から毎週、木・土・日の 3 日間、地区から一番近い「スーパーハヤシ」までの送迎事業をスタートしました。

まず、利用希望者は「買物送迎車利用申込書」を運営主体である買物送迎運営委員会に提出し、利用にあたっては前日までに電話で予約することで、当日、ドアツードアで利用できる方法です。

送迎車は 7 人乗りの自家用車を自前で調達し、運転は区内有志のボランティア、また買物を補佐するサポーターが必要な方には、同じくボランティアのサポーターを同乗するようにしました。

利用は無料、ボランティアも無償で行ってきました。

## 【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

○ 買物代行ではなく、利用者本人が店頭で買い物をすることで、得られる満足感や地域の皆さんとの交流が図られることで孤立しがちな方にとっても、買物送迎という選択は適切であったと考えています。

○ 市が実施している「大網白里市住民協働事業」の制度を知ったのは、2年目を迎える前年で、当事業が該当するかどうか応募し、採択されましたが、行政に期待したのは、市の持つ情報力や運営にあたっての適切なアドバイス、また、財政的な支援で、その点で、当事業が持つ有用性について確信を深めることができました。

○ 買物行動は日常欠かせないものだけに、不便を乗り越えて、皆さん苦勞して日常を送っています。そういう中で、提案された買物送迎事業には少なからぬ反響があり、週3便・買物先が限定されているにもかかわらず、利用者は着実に増えてきました。

○ 地域独自にこうした事業を実施しているのは極めてまれなのか、私たち自身もそうした取り組みを行っているところとの情報交換をしたいところですが、まだ、そういう交流は実現していません。（上記第5項含む）

協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 上記第2項に同じ	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 利用する高齢者数が増えた。

### 【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>公共交通手段が行き届かない交通不便地にあっては、公共交通システムの改善や、買物不便者などに対する行政施策に待つことなく、地域が直面する課題に不十分ながらも取り組むことで一つの解決の糸口を開いたものと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報にて、この事業をPRする際、協力する。</li> <li>・同様の取り組みを行っている事例があれば情報提供する。</li> <li>・各種法規制や運営上のアドバイスをを行う。</li> </ul>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p> <input checked="" type="checkbox"/> 適正であった  <input type="checkbox"/> 概ね適正であった  <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった            (理由) 上記団体の役割の記述に同じ         </p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 適正であった  <input type="checkbox"/> 概ね適正であった  <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった            (理由)            市内の移動サービス団体を集め、その席上、この団体及び活動内容を紹介した。         </p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
<p>毎週、木・土・日の午前中に1便利用者自宅玄関前からスーパーハヤシまでの往復を送迎することで、2016年9月1日から送迎事業を実施しました。</p> <p>利用にあたっては利用したい利用登録者から、前日までに電話での予約をして利用していただく、事前予約制でスタートしました。</p>	<p>週3便は、現在も踏襲していますが、当初実施していた木曜日については週の後半に偏りがちなことから、水・土・日の3便に変更。</p> <p>また、事前に事務局担当者に電話で予約することにためらいを持つ方もいることから、2017年5月1日から足腰が弱くて玄関先での迎えが必要な方はこれまで通り、事前予約とするほかに、区内8ヶ所に設定した停留所から予約なしで当日、乗車できるように改善しました。</p> <p>その結果、別表のとおり、利用日・利用者数は格段に増加するようになりました。</p> <p>予約制の時は、予約のある日だけ送迎車を運行していましたが、改善後は、予約のあるなし停留所での乗車のあるなしに関わらず、水・土・日には区内を循環するようにしました。</p>

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 適正であった
- 概ね適正であった
- あまり適正でなかった

（理由）無償のボランティアによる運行という点を考慮すれば、今のところは週3便の運行は無理のないところといえます。

また、一番身近なスーパーに限定している点についても、コミュニティバスとの競合を避ける点や、ボランティアによる運転という点で交通煩瑣な街中を避けるうえでのリスクをできるだけ小さくする点でもおおむね適正な判断であると考えています。

#### 【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

（例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。）

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

スタートして二年目を迎え、区内広報紙「上谷新田だより」（隔月刊）や独自のチラシ・ポスターなどを通じて、時々広報をしてきたことや利用者の口コミなどで、徐々に利用者が増えてきたことから、それを支えるスタッフの充実も図ってきました。

運転ボランティアはスタート当初6人でしたが、現在は9人となり、サポーターの方も4人が6人となっています。それにより、ひと月あたりの負担も軽減するようになりました。

財政的にこの事業を支えるリサイクル活動も、第3日曜日の区内を巡回しての廃品回収事業も定着してきました。

さらに、「大網白里市住民協働事業」への参加により市民権も上がるとともに財政的にも大きな支えとなっています。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 上記のとおり。

### 【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
地域が抱える課題に何とか自前で解決ができないかということでスタートした事業ですので、協働事業に採択されたことで、市の行政サービスがどうなっかについてはわかりませんが、協働事業に採択されたことで、社会的認知を得たことで自信を深めることができました。 良かった点等については既にふれている部分もありますが、予算の作成のうえでアドバイスのあった有償福祉車両運転講習会については、無償で実施している当事業は該当しないものの、運転の心構えや制度的なことなど我々が承知しておくべきが多く役に立っています。
市
・高齢者人口が増加し続ける中、高齢者や家に引きこもりがちな者も増え、また、買物するスーパーが遠いため、この地域においては団体の活動によりサービスの充実がされた。また、今後は免許返納者等も加わり需要が増えると想定されるため、団体活動の必要性があると思われる。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>全国的にも珍しい取り組みであり、今年度は、全国的な組織であり、国土交通省公認の安全運転講習等も行っている「NPO全国移動サービスネットワーク」の事務局長を招いて紹介した。</p>